

復興支援アドバイザー派遣事業 事例紹介

派遣先：安芸高田市商工会復興支援グループ
(平成30年11月20日認定)
(グループ代表者名：安芸高田市商工会、構成員：8者)

●派遣経緯

- ・安芸高田市商工会は被災事業者をまとめてグループを組成し、グループ補助金の活用による復旧・復興を推進。
- ・グループ補助金に関する商工会職員の勉強会、被災事業者に対する制度説明、補助金交付申請手続きのアドバイス等状況に応じ継続的なアドバイザー派遣を要請。

●派遣のポイント

- ✓ 熊本地震災害における補助金活用支援に実績のあるアドバイザーの投入
- ✓ 交付申請手続きのポイントを簡潔にまとめて説明
- ✓ 被災事業者の状況を丁寧に聞き取って必要資料、記載事項をアドバイス



説明会の様子

●実績・成果

- ・派遣回数 5回、アドバイザー 5名
- ・相談対応事業者数 7者（うち交付申請済み3者）（2/28時点）

●グループ代表者の声（安芸高田市商工会・丸本経営指導員）

グループ補助金という未知の事業に対して、商工会職員への勉強会から全体説明、グループ組成、グループ構成員個別サポートまで、全体的にサポートいただき、効率よく迅速に推進でき非常に助かりました。今後も引き続きサポートいただきたいと思います。

●復興支援アドバイザーの思い（木村武則アドバイザー）

事業者の状況に応じた申請書作成支援等により早期復興を目指します。今回の復興活動を契機に経営の見直しを行い経営革新取組等経営向上を図っていただきたいと思います。

**派遣先：総社吉備路商工会 「吉備路を元気にするグループ」
(平成30年11月2日認定)
(グループ代表者名：(有)まるみ麴本店、構成員：19者)**

●派遣経緯

- ・総社吉備路商工会は被災事業者をサポートしてグループを組成し、グループ補助金の活用による復旧・復興を推進。
- ・グループ認定後すぐに、グループ補助金の被災事業者向けの個別相談会を毎週2回（2会場）の頻度で定期開催。交付申請書や実績報告等で一貫した相談対応ができるよう、同じアドバイザーの継続的な派遣を当機構へ要請。

●派遣のポイント

- ✓ 担当アドバイザーを各曜日で固定し、被災事業者が同じアドバイザーに継続的に何度でも相談できる体制を整備。
- ✓ 交付申請、実績報告等の手続きのポイントを簡潔にまとめて説明。
- ✓ 被災事業者の状況を丁寧に聞き取り、必要資料、記載内容をアドバイス。



個別相談会の様子

●実績・成果

- ・派遣回数 11回、アドバイザー 2名
- ・相談対応事業者数 14者（うち交付申請済み12者）（2/28時点）

●支援機関の声（総社吉備路商工会・山部支援課長）

- ・各曜日の担当アドバイザーが、必要書類や記入箇所をわかりやすく説明し、申請書の作成後も同じアドバイザーが内容確認を行い、不明点はその場で県に確認してもらえるので、被災事業者から喜ばれています。補助金申請予定者もほとんどが年度内に交付申請を行えました。
- ・当商工会の担当者も、アドバイザーと一緒に考えることができ、精神的な不安が解消されました。

●復興支援アドバイザーの思い（安原朋彦アドバイザー）

突然の水害というなんとも不条理な事態により甚大な損失をこうむったにも関わらず、黙々と復旧に取り組まれる事業者のみなさまの姿には本当に頭が下がります。みなさまのガッツを見ていると、これこそが「経営の土台」なのではないかと感じました。我々もお力になれるよう一層努力します。